

でも、^{のこ}遺されたのは未来。



親友のイノチを救えなかった彼。
かけがえのないイノチを守れなかった彼女。
壊れかけた二つの心をつないだのは、
「遺品整理」という
イノチと向き合う仕事だった。

アントキノイノチ

— あの時の命 —

岡田将生 榮倉奈々 松坂桃李 / 原田泰造

染谷将太 檀れい 鶴見辰吾 / 柄本明 / 堀部圭亮 吹越満 津田寛治 宮崎美子
(友情出演)

監督: 瀬々敬久「ヘヴンズストーリー」(ベルリン国際映画祭 国際批評家連盟賞・最優秀アジア映画賞)

原作: さだまさし「アントキノイノチ」(文冬会刊) 脚本: 田中幸子、瀬々敬久 配給: 松竹 www.antoki.jp

「余命1ヶ月の花嫁」「Life 天国で君に逢えたら」のスタッフが贈る感動作

君に出会えたから、
ひとりじゃないと思えたから、
もういちど、生きたいと思った。



瀬々敬久監督最新作 (第61回ベルリン国際映画祭 国際批評家連盟賞・最優秀アジア映画賞受賞『ヘヴンズ ストーリー』)

岡田将生 × 榮倉奈々 この秋、心揺さぶる感動作誕生

高校時代のある事件がきっかけで、心を閉ざしてしまった永島杏平。

父の紹介で遺品整理業の現場で働き始めた杏平は、久保田ゆきと出会う。

命が失われた場所で共に過ごす中で、次第に心を通わせていく2人。

そんなある日、ゆきは衝撃的な過去を杏平に告げる。そして、杏平の前から姿を消してしまう――。

2009年に発売され、幅広い年齢層の感動を呼んだ『アントキノイノチ』(さだまさし著、幻冬舎刊)。本書が『余命1ヶ月の花嫁』、『Life 天国で君に逢えたら』などで、“命”というテーマと向き合い続けてきた制作チームにより、遂に映画化される。

主演を務めるのは、2010年『告白』『悪人』などに出演し、躍進目覚ましい岡田将生と、『余命1ヶ月の花嫁』での演技が高く評価された榮倉奈々。今、最も注目を集める2人が本作で初共演を果たした。また、原田泰造が2人を見守る重要な役どころで出演するほか、松坂桃李や染谷将太などの注目の若手から、柄本明、檀れいといった実力派俳優が顔を揃え、スクリーンを彩っている。

監督は、昨年公開された『ヘヴンズ ストーリー』で、第61回ベルリン国際映画祭・国際批評家連盟賞とNETPAC賞(最優秀アジア映画賞)の2冠を獲得した瀬々敬久。自らの過去に向き合い、そこから一歩ずつでも前に進もうと願う若者を、爽やかに描ききった。

2011年秋、希望をつなぐイノチの物語が誕生する。



photo by chihoko ishii

11月ロードショー

powered by TSUTAYA

